

11. 教育、就職、住宅にもたらす影響について

1) 教育・就職にもたらす影響

木曾地域内の高校生およびその保護者を対象にした進路アンケートでは、高校生では35%が就職、64%が進学を希望している。一方、保護者では32%が就職、66%が進学を希望しており、両者で大きな差は見られない。

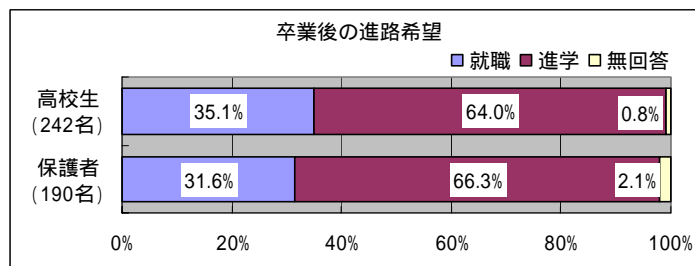
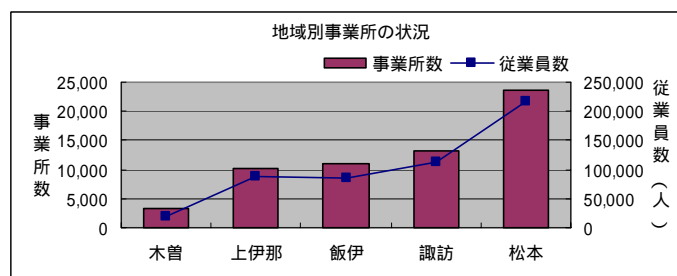


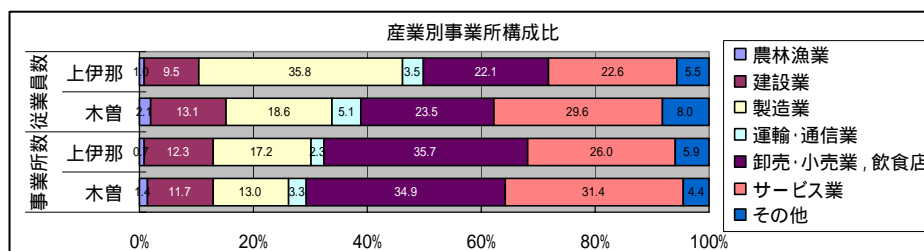
図 11-1 卒業後の進路希望

伊那木曾連絡道路が開通すると、木曾地域も伊那地域の通勤圏になると期待される。上伊那地域の事業所数は10,211、従業員数は89,222人と木曾地域(事業所数3,192、従業員数19,977人)に比べ非常に多い。特に、製造業の割合が木曾地域に比べ高いことが分かる。そこで、就職希望と回答した高校生および保護者に対し、就職希望地域を尋ねたところ、両者とも木曾地域の就職希望が最も高く、続いて東海地域、松本・諏訪地域の順となっており、伊那・飯田地域については高校生では5.9%、保護者では3.3%と少ない回答となった。また、伊那木曾連絡道路開通後の伊那地域への就職可能性について尋ねても、「ある」という回答は6.1%にすぎなかった。上伊那地域には、どのような産業、事業所があるかを把握しておらず、就職希望地域の選択肢に入らなかったためだと考えられる。



資料：総務所「事業所・企業統計調査」平成13年

図 11-2 事業所の状況



資料：総務所「事業所・企業統計調査」平成13年

図 11-3 産業別事業所の構成比

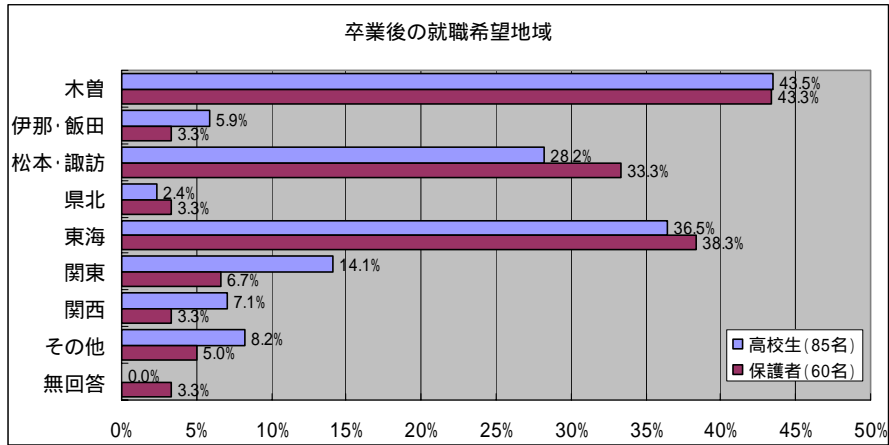


図 11-4 卒業後の就職希望地域(複数回答)

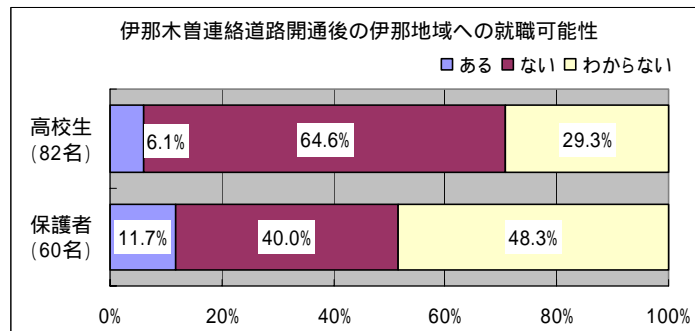


図 11-5 伊那木曾連絡道路開通後の伊那地域への就職可能性

進学希望と回答した高校生および保護者に対して、進学希望地域を尋ねたところ、大学や専門学校が多い東海、関東地方の割合が高くなった。伊那・飯田地域については高校生では2.6%、保護者では5.6%と就職希望と同じく少ない回答となった。伊那・飯田地域には大学・専門学校が少ないためだと考えられる。

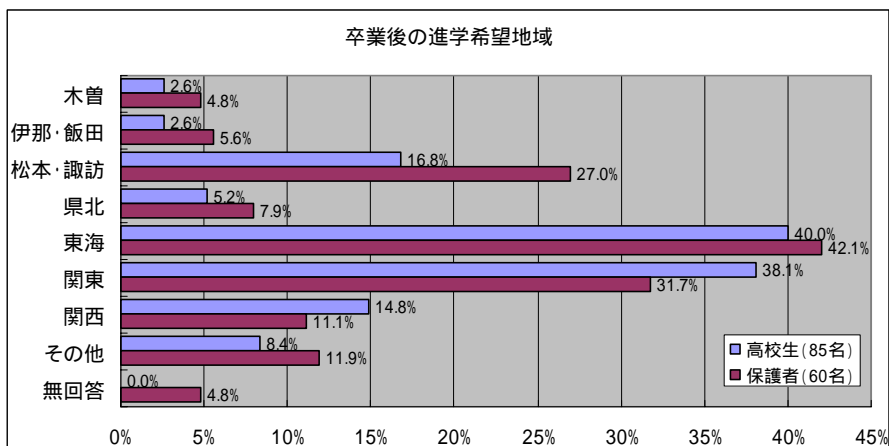


図 11-6 卒業後の進学希望地域 (複数回答)

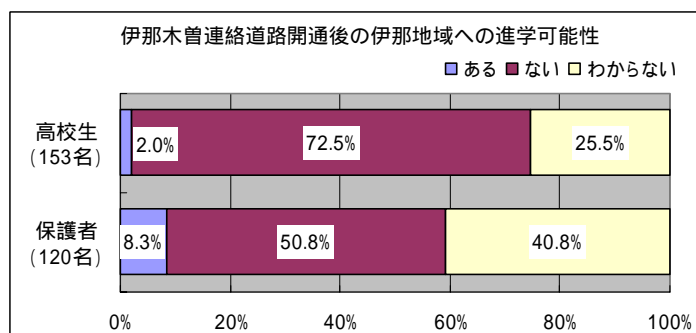


図 11-7 伊那木曾連絡道路開通後の伊那地域への進学可能性

2) 住宅にもたらす影響

伊那市と木曽福島町および上松町の住宅地の地価を比較すると、伊那市の平均地価は21,500円/㎡であるのに対し、木曽福島町、上松町の平均地価は31,700円/㎡と伊那市に比べ50%ほど高い。そのため、伊那木曽連絡道路が開通すると上伊那地域が木曽地域の通勤圏となるため、現在、木曽地域に居住・通勤している人も、将来、上伊那地域に転居する可能性がある。

逆に、上伊那地域にはハイテク産業の集積地としての工業団地を有しており、通勤圏となる木曽地域に定住し上伊那地域へ通勤する人が増加すると考えられるが、上伊那地域の地価が安いこと、上伊那地域へ転居することも考えられる。

表 11-1 住宅地の地価

基準地番号	調査年	所在	地価(¥/m ²)	地積(/m ²)	最寄駅距離(m)	利用現況
伊那-1	2004	長野県伊那市大字西箕輪7127番4	23,400	261	伊那北駅 4,300m	住宅
伊那-2	2004	長野県伊那市大字東春近字中組770番	18,800	489	下島駅 2,000m	住宅
伊那-3	2004	長野県伊那市大字東春近字北丘10746番55	13,400	760	沢渡駅 1,600m	住宅
伊那-4	2004	長野県伊那市大字美鷲8365番5	25,500	232	伊那北駅 3,600m	住宅
伊那-5	2004	長野県伊那市大字伊那部208番1	33,700	496	伊那市駅 2,300m	住宅
木曽福島-1	2004	長野県木曽郡木曽福島町新開4977番7	32,100	267	木曽福島駅 2,400m	住宅
木曽福島-2	2004	長野県木曽郡木曽福島町5564番1	42,000	195	木曽福島駅 1,700m	住宅
木曽福島-3	2004	長野県木曽郡木曽福島町1993番1	33,500	332	木曽福島駅 500m	住宅
上松-1	2004	長野県木曽郡上松町緑町2丁目16番	33,900	214	上松駅 550m	住宅
上松-2	2004	長野県木曽郡上松町大字上松字松原1769番4	24,500	328	上松駅 2,300m	住宅
上松-3	2004	長野県木曽郡上松町大字上松字若宮766番1	29,400	351	上松駅 700m	住宅

資料：国土交通省「都道府県地価調査」平成16年